

第5回 近畿圏広域地方計画協議会 議事要旨

日時：平成28年2月25日（木）14：00～15：30

場所：リーガロイヤルホテル 2階 山楽の間

1. 開会 14時00分

2. 挨拶

3. 議事

（1）関西広域地方計画 計画原案（案）について

（2）近畿ブロックにおける社会資本重点整備計画（原案）（案）について

4. その他

2. 挨拶

【近畿圏広域地方計画協議会会長（関西経済連合会：森会長）】

本協議会では、昨年4月と9月の2回にわたって来年度以降の広域地方計画の議論がなされたが、今回が来月に予定している国土交通大臣決定前の最後の会議となる。前回の会議では、中間整理案とプロジェクト骨子案について活発なご議論を頂いたが、本日は前回のご意見やその後の市町村からの提案、幹事会での結果等を踏まえた計画の原案をお示しする。原案の内容は、複眼型国土構造の重要性やアジアのゲートウェイとしての関西の役割を明確にするなど、関西が目指すべき姿を大きな方向性としてしっかりと示すことが出来たのではないかと考えている。前回の協議会において多くのご意見を頂いたリニア中央新幹線や北陸新幹線については、関西の危機感や1日も早い開業に向けた思いを踏まえて、それを100%反映出来たとまでは言えないが、全国計画よりも一歩踏み込んだ内容となっている。前回の協議会以降、国土政策局、近畿地方整備局、近畿運輸局が中心となり、関係部局と厳しい協議を重ねた結果と聞いており、関係者の皆様のご尽力に厚く御礼申し上げます。本日は、計画の原案についてご審議頂きたい。計画の策定作業は大詰めを迎えているが、本日頂いたご意見についても、出来る限り反映したいと考えているので、活発なご議論をお願いしたい。なお、本日は来年度以降5年間の社会資本整備重点計画の原案についてもお示しするので、広域地方計画と併せてご意見を頂きたい。最後に、関西広域地方計画はこの後国土交通大臣の決定を受けて、いよいよ実行の段階に移っていく。我々が作り上げた計画をしっかりと実現するために、関西が一体となって取り組んでいきたいと考えているので、皆様のご協力をお願いしたい。

【国土交通省：森重国土交通審議官】

今後の関西のあり方を示す広域地方計画について、今日まで大変熱心なご議論を頂き、本日ここに「歴史とイノベーションによるアジアの対流拠点」となることを基本方針とする計画原案を取りまとめて頂いたことに厚く御礼申し上げます。本日は、これと併せて近畿ブロックにおける社会資本整備重点計画についても議論されるが、社会資本整備重点計画は昨年９月に政府として閣議決定し、社会資本のストック効果の最大化を目指した戦略的なインフラマネジメントの徹底を打ち出したものであり、国土交通省としてもこうした取り組みをしっかりと進めていくことにしている。近畿ブロックにおける社会資本整備重点計画は、広域地方計画に掲げるビジョンを踏まえて、その実現に向けて計画的に進めていく社会資本整備の方向性を取りまとめていきたいと考えている。様々な課題を乗り越えて、我が国そして近畿圏が発展していくためには、様々な知恵と力を結集していくことが必要である。近畿圏においては、産業、都市機能の集積や最先端の技術力を活かして、健康や医療産業、エネルギー分野も含めてイノベーションを創出し、我が国の成長エンジンとなっていくことを掲げている。また、観光の分野においても、近畿圏には歴史・伝統文化のストックを活用していく取組みに加えて、圏域の北部や南部に至るまで幅広く観光資源を活用して、インバウンドの効果を波及させていくことが重要であり、関西の更なる発展に寄与することと確信している。計画を進めるにあたっては、「広域地方計画の地域戦略」、「近畿ブロックにおける社会資本整備重点計画を踏まえたインフラ整備」、「府県や市町村で策定する地方版の総合戦略」の３つの取組を連携して進めていくことが大事であり、国土交通省としてもこうした取り組みを総力を挙げて支援していくので、皆様にも計画の推進に当たって引き続きご協力を賜りたい。

３．議事

- (1) 関西広域地方計画 計画原案（案）について
- (2) 近畿ブロックにおける社会資本重点整備計画（原案）（案）について

■資料１・３・５説明（近畿圏広域地方計画協議会幹事長）

■質疑

【大阪商工会議所】

これまでに関係各局と大変な調整を続けて頂いた事務局をはじめ、関係者の皆様に敬意を表したい。

- ① リニア中央新幹線と北陸新幹線については、前回は関西の危機意識をもっと強く打ち出すべきということと、全国計画よりは一步踏み込むべきといった意見が出されたが、計画原案はかなり前に進めて頂いた。
- ② 観光については質的に変化してきており、リピーターの取り込みが必要となっているが、単に爆買いやショッピングというだけでなく、文化、芸能、芸術、伝統といった分野に関心を持っている人が多いと思われる。特に「食」については、関西には地域の食材や食文化、郷土料理が多様にあり、そういったものを求めて各地域に来て頂けるようにするために、地域の魅力向上と関西全域の広域交通網の構築が重要である。

広域地方計画の実現には、関西一体となって取り組んでいくことが必要であり、我々もその一翼を担っていきたい。

【関西経済同友会】

- ① 「全国計画」にうたわれております「地域間のヒト、モノ、カネ、情報の双方向の活発な動き・対流こそが日本の活力の源泉」および「三大都市圏のスーパー・メガリージョンの形成」、そして、さらには、東京一極集中の是正・地域主権・地方分権・地方創生は、今後の日本にとって、大変重要な方向性であると考えております。
- ② これまでの本協議会におけます、リニア中央新幹線の全線同時開業、北陸新幹線の大阪への早期延伸などにつきましての、真摯なご議論に感謝いたしますとともに、本『関西広域地方計画』決定後の、実現に向けた動きにつきましての、本日まで出席の、国をはじめとする皆さまの、一層のご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。
- ③ 中央省庁・政府機関の地方への移転につきましては、関西経済同友会でも、京都・神戸・関西経済同友会の連名で、さらには、関西広域連合との連名で、要請活動を行ってまいりました。3月の国の取りまとめに向けまして、引き続き、宜しくお願いいたします。

【堺市】

関西国際空港について、意見を2点申し上げたい。

- ① 計画原案のP24のところで、関西国際空港が「東アジアの玄関口」となっているが、関西国際空港はもともとアジアのハブ空港を目指しており、P27ではアジアのゲートウェイとしての関西国際空港と記載されていることから、「アジアのゲートウェイとしての関西国際空港」という記載にして頂きたい。
- ② 関西や泉州の発展は関西国際空港なしでは考えられず、そのためにも関西国際空港までの高速アクセスが重要であり、現在国の与党P.Tにおいても北陸新幹線の関空までの延伸が議論されているところである。今後10年間の計画ということで、広域地方計画に具体の記載は出来なくても、例えば関空までの新幹線などの高速鉄道によるアクセスの検討、或いは鉄道アクセスについて、高速鉄道を視野に強化を図るといったような主旨の記載をして頂きたい。

【兵庫県】

- ① コンパクト＋ネットワークについて、前回の協議会において知事（兵庫県）より、コンパクト化により山間部等の集落・地域が切り捨てられるというようなことにならないかと申し上げたが、今回の原案ではネットワークを整備して地域をしっかり守っていくということを明記して頂いたので、感謝申し上げたい。今後の計画の推進に当たっても、ネットワークによって地域を守っていくということをしっかりと考えて頂きたい。
- ② 高速道路ネットワークについて、関西のポテンシャルを十二分に発揮するため、大阪湾の環状道路の整備やミッシングリンクの解消について示して頂いているので、大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線、播磨臨海地域道路など、今後事業化に向けた取組みが着実に進むような路線について、今後の位置づけを考えて頂きたい。
- ③ 関西の人口・経済規模は、世界の主要地域と匹敵するエリアであるが、こうした主要地域では現在の関西が有する滑走路以上の空港群が運用されている。今後、ラグビーワールドカップや東京オリンピック、ワールドマスターズ等の国際大会があり、ますますインバウンドの拡大や航空需要が増大していくことを踏まえると、関空、大阪、神戸の3空港を首都圏の空港群と並ぶものとして一体的に活用することが重要だと思われる。

【神戸市】

- ① 神戸医療産業都市の推進や国際コンテナ戦略港湾である阪神港の機能強化など、神戸市が進めている施策を盛り込んで頂いたことについて、感謝申し上げたい。
- ② 都心・三宮の再整備について、人と公共交通優先の空間を創出する三宮クロススクエアの図を掲載して頂いたことについても、感謝申し上げたい。
- ③ 関西はミッシングリンクが多く、経済発展の大きな障害となっており、ネットワークの充実が必要であるが、特に大阪湾岸道路西伸部や神戸西バイパスは神戸市だけでなく関西全体の経済活動を支える重要路線と認識しているので、是非とも推進をお願いしたい。現段階では計画には記載しにくいと思われるが、計画が策定されるまでに記載できる状態になれば、このスケジュールの中で記載して頂けるようにご配慮をお願いしたい。

【近畿地方整備局（局長）】

平成26年度より熱心なご議論を頂き、お蔭様で一定の内容がまとまった。関西広域地方計画の中で、快適で豊かな暮らしや歴史とイノベーションによるアジアとの対流拠点を目指すといったことや、重点計画ではストック効果の最大化に向けた取組みの推進など、これらはいずれも強い関西、元気な関西を作っていこうとする意志の表れだと考えている。交通ネットワークの問題や地域の魅力向上により観光を活性化していくといった課題もあるので、今後計画を推進していく上で、皆様のご支援ご協力をお願いしたい。

【近畿運輸局（局長）】

「関西広域地方計画」の策定にあたり、熱心なご議論を頂き、誠にありがとうございました。昨年２月に交通政策基本計画が策定され、社会資本整備重点計画と共に両輪として広域地方計画を支えて実行していくこととしている。関西の広域観光、国際観光の推進についても、受入環境の整備等を関西が一丸となって取り組むことが何よりも大事だと思っているので、引き続き皆様のご協力をお願いしたい。

【事務局】

本日頂いたご意見についての個別回答は差し控えさせて頂くが、パブリックコメントを経て来月末の大臣決定という手続きの中で、計画原案の最終案については、構成機関の皆様にお諮りさせて頂きながら計画決定に向けて進めていきたい。その中で本日頂いたご意見についても、出来るだけ反映させて頂くように努力したいと考えている。

【近畿圏広域地方計画協議会会長】

本日のご意見の中には、修正に対するご意見もあったと思われるが、只今事務局よりご説明があったように、可能な限り調整したいということなのでご一任頂きたいが、それでよいか。（特に意見なし）

4. その他

【国土政策局大臣官房審議官】

近畿圏での広域的な国土のあり方、また社会資本整備のあり方について、熱心なご討議をこれまで進めていただいたことに厚く御礼申し上げたい。全国計画である国土形成計画が昨年８月に閣議決定されているが、この進め方についても２月１８日に国土審議会があり、計画というものは作っただけで棚に飾っておくようでは困るということで、計画推進部会をつくり、これを如何に心を込めて進めて行くのかが大きな課題となっている。地域の具体的な広域地方計画こそ、これを進めていただくことが大変重要であり、様々な関係者が全て揃っておられる広域地方計画協議会において、今後もPDCAサイクルを回しながら進めていただくことを是非お願いしたい。

さらに全国で自治体を中心に地方創生が大変関心をあびている。その中では官民共同、地域間連携、政策間連携などが重要なテーマとなっており、このような取組のためには地元の自治体、経済団体、関係省庁の地方機関の参画が重要であるが、まさにこの協議会において、地方創生との連動についても考えながらフォローアップし推進していただけたらと思う。

また、広域地方計画の参考数値というものがある。最終的にこの計画には、計画推進の参考となる既存の数値目標を、各ブロックの横並びも考慮しながらできるだけ盛り込めばと考えている。これについては必要に応じて構成機関の皆様ともご相談させていただきながら、大臣決定に向けて、充実を図りながらまとめていきたいと考えているので、よろしくお願いしたい。

【事務局】

今後は、来月の計画策定に向けて、本日頂いたご意見を最大限反映出来るように努力したい。その過程で、構成員の皆様に案をお示しさせて頂いた上で、計画原案をまとめていきたい。また、先ほど館審議官よりお話し頂いたように、計画が着実に推進されるような数値目標の設定など、今後とも皆様とご相談させて頂きながら取りまとめを行い、計画策定後においても協議会を中心としたフォローアップ体制を構築したいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

【大阪商工会議所】

高速道路のミッシングリンクの解消について、東京オリンピックでさらに東京一極集中が進展しようという危機的な状況なので、3月末までにこういったことも追記して頂きたい。

【事務局】

先程頂いたご意見の中で、3月末の計画策定と事業化のタイミングについては、今後まだ動きがあると思われる中で、ご相談させて頂きながら書き込めるものは書き込んでいきたいと考えている。

以上